

ニ失入斯テハ運動、慰安、修養等ヲ豊ミスル餘裕ナク從テ身心ニ疲労ヲ來シ
延テハ生産能率ヲ妨グル事必然ナリ要スルニ勞務時間ヲ適當ニ短縮スルハ
従業員ニ快感ヲ與フルト同時ニ生産能率ヲ向上セシムルコトハ今一議議地
ナキモト信ズ故ニ労働者ノ健康保持並ニ生産業ノ經濟上ヨリシテ速カニ實行セ
ラレシコトヲ望ム

三。退職手当問題ニ対シ各工作廳限リ於テ処理シ難キヲ以テ中央ニ意見ヲ
進達スベシトノ回答ニ接シタルガ故ニ中央ニ其意見ヲ進達セリトモノト
思惟ス。曩ニ本件ニ對シ工友多クノ回答ニミテハ其ノ曉ニテハ既ハ勤續カ
給ヲ撤廢サルハヤモ計リ難シトノ言明アリシガ既行ニ於テ軍備縮小並ニ行政整
理ニ際シ給付セラレタル解職手当ヲ今后ニ於テモ之ガ支給ヲ要セントスルハ敢
テ不當ニ非ズ而シテ失業保險法等ノ制定ナキ今日ヨリテ本件ノ要求ヲナス
事ハ寧ろ口正當ナリト信スルト同時ニ其續加給ノ之ガ爲メニ撤廢サル、テフコ
トナリトセバ其ハ吾人ニ大ナル脅威ヲ與フルモノニシテ其ノ後業員ノ生活状態心ヲ

大正十四年十一月二日

理解セラレガルニ非ズヤト疑フ故ニ吾人ハ敢テ当局ノ理解アル解決ヲ望ム
四。共済組合理則第二十條第一項及第二項ヲ削除ノ要ナシ又第二項ニ對シテ
ハ第二十条ノ但書ニ依リ削除ノ要ナシトノ附言アリシが大正十三年十月二十一
日逓信省令第四十四號ニ依ル逓信部内職員共済組合理則中改正ノ要旨ハ
吾人等ノ要求ノ一部分ト合致スルニテ認ム故ニ当局ノ再考ヲ望ム
五。前各號以外ノ決議及希望事項ニ對シテモ吾人ノ要求ヲ諒解セラレ速ニ
適當ナル解決ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

右決議ス